

間ノ岳 南岩峰から

※標高3190m 奥穂高岳と並びわが国第3位



TOKUSHU 特種東海製紙株式会社

目次

		NaSFA の進捗状況(新商品の開発)	
・会社概要	(p1)	NaSFAについて	(p16)
・ 当社設立後の推移及び第三次中計の方向性	(p2)	・ フィブリックテストマシンの稼働状況	(p17)
・ 中期経営計画 経常利益増加アクションプラン	(p3)	・ 除染シートの原発港湾内海水浄化への応用	(p18)
1 MATHER AT IN THE STATE OF THE PARTY OF THE	(p3)	・ セキュリティー用紙の開発	(p19)
2015年3月期第2四半期連結決算概要		・ 技術融合型ファンシーペーパーの上市	(p20)
	(n4)	・ DFコーターによる高級印刷紙の上市	(p21)
・第2四半期連結業績実績	(p4)		
・ 経常利益の増減要因(第2四半期)	(p5)	海外展開	
		・ 中日特種紙 薄紙ファンシー	(p22)
<u>2015年3月期通期連結業績見通し</u>	<i>(</i>		
・ 通期連結業績見通し	(p6)	新規分野への進出	
・ 経常利益の増減要因(通期)	(p7)	・リニア工事と当社の取り組み	(p23)
・ 当社のセグメントごとの特徴	(8 q)	・ リニア工事と当社の取り組み	(p24)
・ セグメント情報-産業素材事業	(p9)	・ 赤松水力発電の更新工事	(p25)
・ セグメント情報-特殊素材事業	(p10)	・ 島田工場 新バイオマスボイラーの設置	(p26)
・ セグメント情報-生活商品事業	(p11)		(10 - 07
		基盤事業の構造改革	
第三次中期経営計画の進捗状況		・ 新タオルマシンの完成(1台目)	(p27)
・第三次中期経営計画のテーマおよび重点項目	(p12)		
・ 中期経営計画 経常利益増加アクションプラン	(p13)		
・中計最終年度における各重点項目の経済的効果	(p14)		
· 借入金残高推移予定表	(p15)		
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		

会社概要

▶ 社名 特種東海製紙株式会社

本店所在地 静岡県島田市向島町4379番地

> 設立 2007**年**4**月**

▶ 代表者
代表取締役社長
社長執行役員
三澤清利

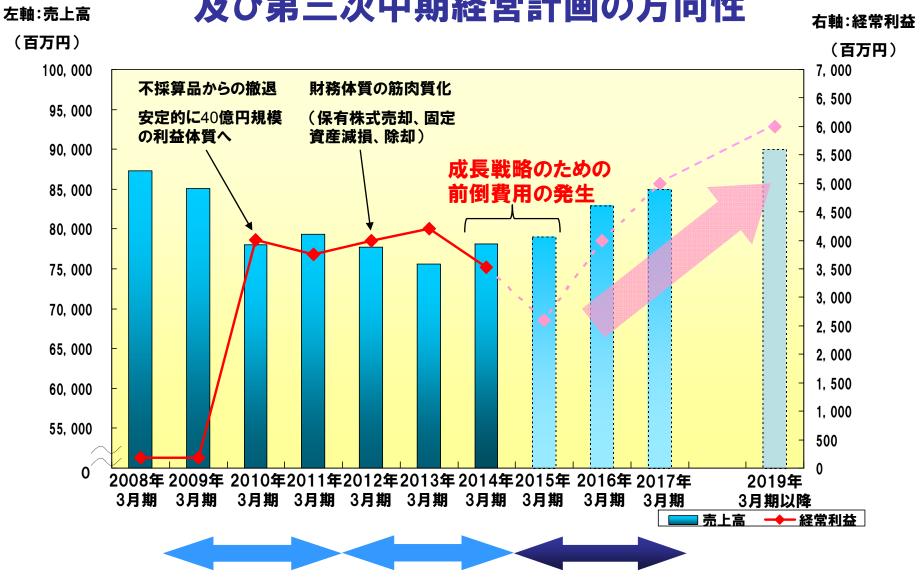
▶ 資本金
11,485百万円

▶ 従業員数(連結) 1,507名(2014年3月)

> 事業内容 紙・パルプの製造、加工、販売

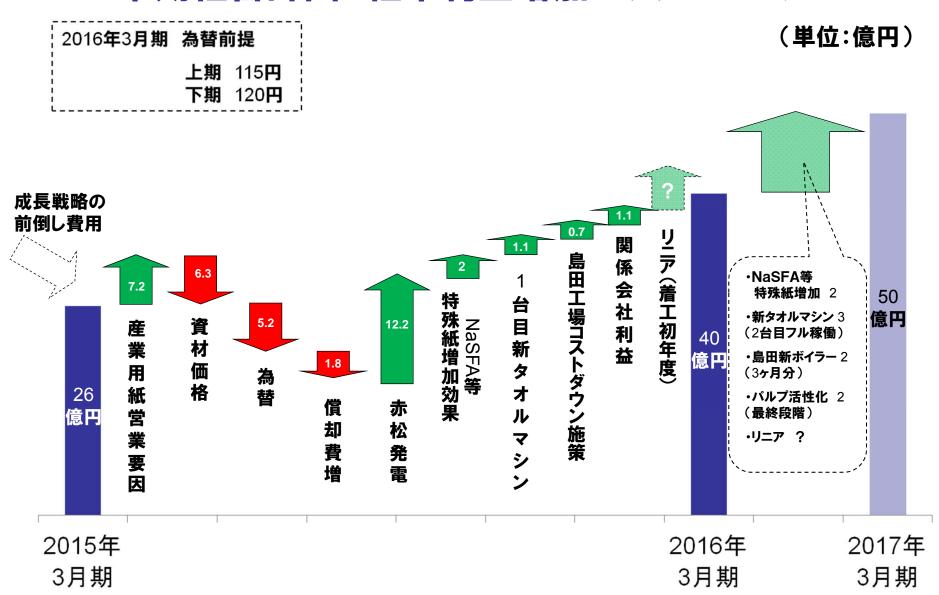
➤ 工場 三島、島田、横井、岐阜

当社設立後の推移 及び第三次中期経営計画の方向性



第3次中期経営計画

中期経営計画 経常利益増加アクションプラン



2015年3月期第2四半期連結決算概要

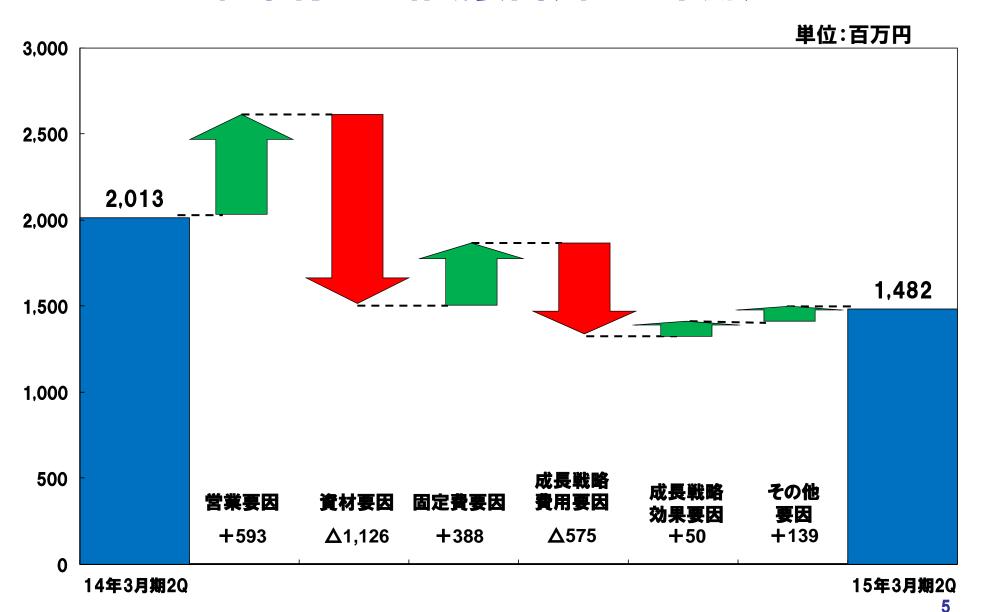
第2四半期連結業績実績

(単位:百万円)

	前年実績	当期計画	当期実績	前年変化	計画変化
売上高	38,545	39,000	39,470	+925	+470
産業素材	20,130	21,132	20,906	+776	△226
特殊素材	10,890	10,967	10,745	△145	△222
生活商品	8,098	8,474	8,416	+318	△58
営業利益	1,824	1,300	1,353	△471	+53
産業素材	513	662	159	△354	△503
特殊素材	1,286	743	1,028	△258	+285
生活商品	82	239	255	+173	+16
経常利益	2,013	1,400	1,482	△531	+82
当期純利益	1,334	800	791	△543	△9

注)各事業セグメントの売上高、営業利益は連結相殺消去前の数字であり、その合計額は連結売上高、連結営業利益とは一致しません。

経常利益の増減要因(第2四半期)



2015年3月期 通期連結業績見通し

通期連結業績見通し

(単位:百万円)

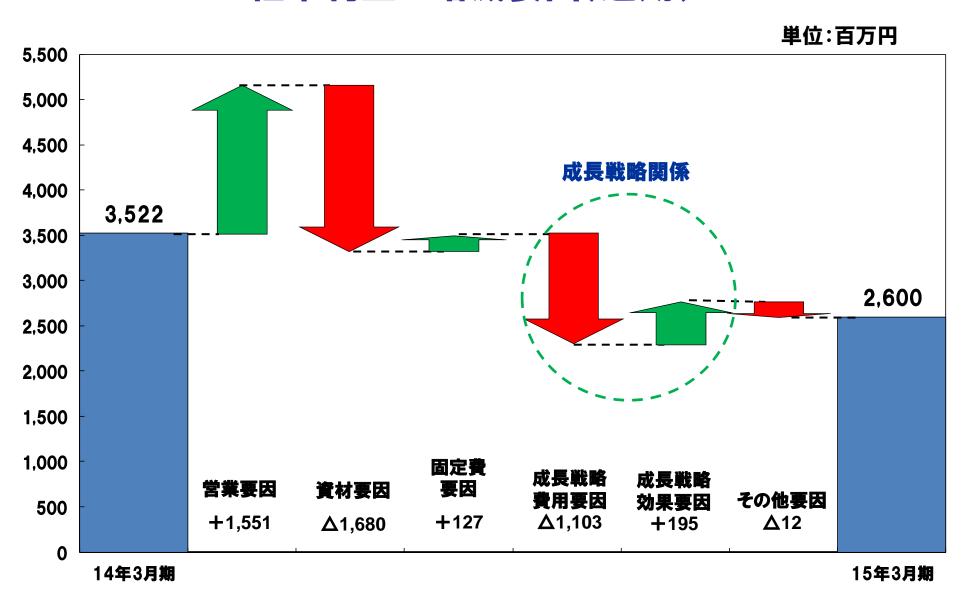
	前年実績	通期見通し	変化
売上高	78,159	79,000	+841
産業素材	39,755	41,400	+1,645
特殊素材	22,051	22,800	+749
生活商品	16,824	17,300	+476
営業利益	3,180	2,500	△680
産業素材	184	40	△144
特殊素材	2,631	2,170	△461
生活商品	378	460	+82
経常利益	3,522	2,600	△922
当期純利益	2,180	800	△1,380
EBITDA	9,743	9,287	△456

前提				
為替レート	103円/US\$			
原油価格	100~110\$/B			
(ドバイ)				

EBITDA=営業利益+減価償却費

注)各事業セグメントの売上高、営業利益は連結相殺消去前の数字であり、その合計額は連結売上高、連結営業利益とは一致しません。

経常利益の増減要因(通期)



当社のセグメントごとの特徴

1. 産業素材事業

- > 段ボール原紙、クラフト用紙等の少品種大量生産(年間約60万t)
- 需要は印刷用紙に比べ輸入品の影響を受けず堅調に推移する
- > 市況商品である

2. 特殊素材事業

- > 付加価値の高い洋紙を多品種少量生産(年間約6万t)
- ファンシー、高級印刷紙は定価品であり、市況の影響受けない
- ▶ 特殊機能紙においては相対販売のものやOnly Oneの商品もあり

3. 生活商品事業

- 紙タオル、古紙トイレットペーパー等、最終消費財
- ➢ 高齢化社会に伴い今後需要の増加が見込まれる

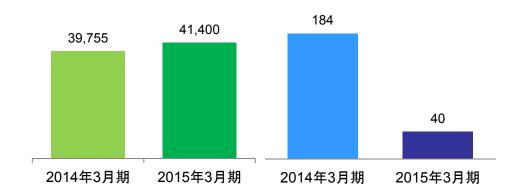
セグメント情報ー産業素材事業

■ 対前年増減(見込)

■ 売上高

■ 営業利益

	2014年 3月期	2015年 3月期	増減
売上高	39,755	41,400	+1,645
営業利益	184	40	△144



- 2015年3月期のポイント
- ▶ 販売価格の値上りを主原因として増収見込みであるが、値上げは想定スピードより も遅く、原材料価格の増加を考慮すると減益
- > 現在も値上げ交渉中

セグメント情報ー特殊素材事業

■ 対前年増減(見込)

■ 売上高

■ 営業利益

	2014年 3月期	2015年 3月期	増減
売上高	22,051	22,800	+749
営業利益	2,631	2,170	△461



- 2015年3月期のポイント
- ▶ 特殊機能紙により増収を見込むも、成長戦略投資に伴う減価償却費増、試験研究 費増及び円安による購入パルプ価格増により減益を見込む

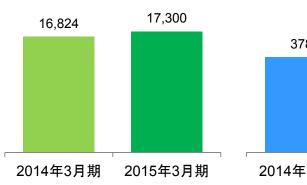
セグメント情報ー生活商品事業

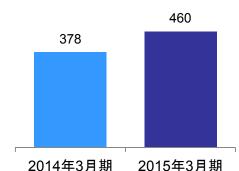
■ 対前年増減(見込)

■ 売上高

■ 営業利益

	2014年 3月期	2015年 3月期	増減
売上高	16,824	17,300	+476
営業利益	378	460	+82





- 2015年3月期のポイント
- ▶ トイレットペーパーは、消費税率引き上げに伴う前倒し需要の反動等により販売数量は前期を下回り、加えて、原材料及びエネルギー価格の上昇もあるものの、前期後半での価格修正効果の維持等により増収増益となる見込み。
- ペーパータオルは、消費税引き上げに伴う前倒し需要の反動等があったものの、販売 先別のきめ細かな営業活動等により、前期並みの販売数量を確保する見込み。

第三次中期経営計画の進捗状況

第三次中期経営計画のテーマおよび重点項目

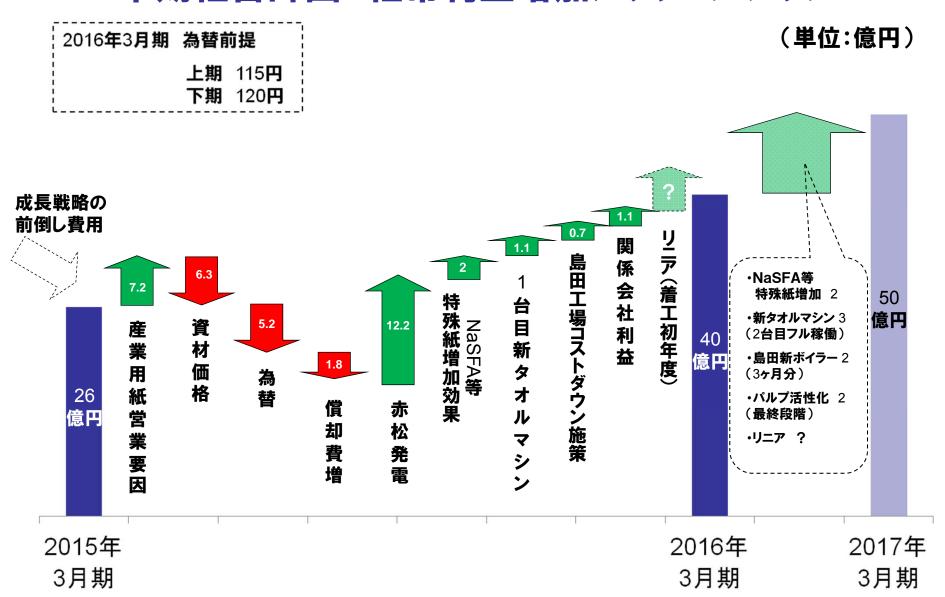
テーマ『変革への挑戦、そして未来へ』

重点項目

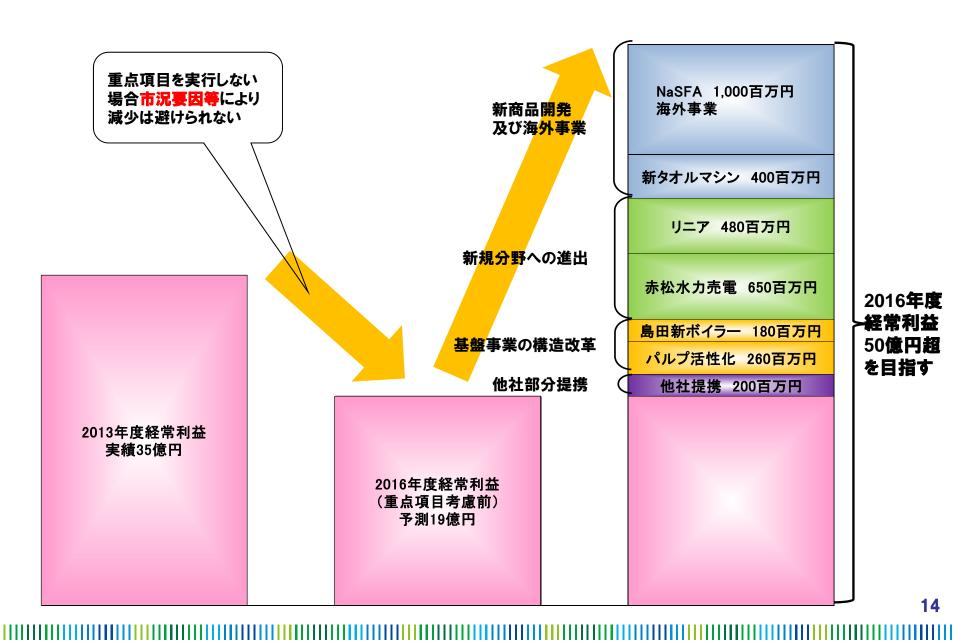
- ① 新商品の開発
- ② 新規分野への進出
- ③ 海外展開
- 4 他社・他産業との部分提携
- 5 基盤事業の構造改革

『 売上高850億円 経<mark>常利益50億円 』の達成</mark> 次期中期経営計画に向けた更なる業績向上のための基盤形成

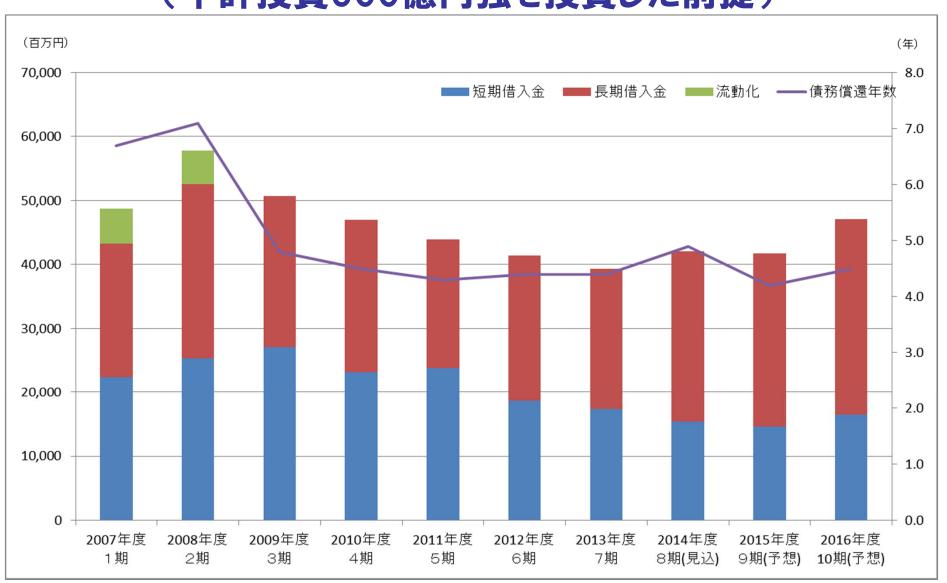
中期経営計画 経常利益増加アクションプラン



中計最終年度における各重点項目の経済的効果



借入金残高推移予定表 (中計投資300億円強を投資した前提)



NaSFAの進捗状況 (新商品の開発)

NaSFAについて

NaSFAとは

当社の商品開発に係る技術力を4つに分類したもの。 それぞれ以下の意味を表す。



- ① Na: Nano technology (ナノテクノロジーから拡がる新たな可能性)⇒紙の領域を超えたシート状物の開発
- ② S: Security (偽造防止技術によるグローバル展開) ⇒黒すかし技術、最新スレッド挿入技術等を用いた製品を投入 ⇒2020年東京オリンピックでの採用に向けた新規要素技術の開発
- ③ F: Fusion (技術融合による新市場の創造) ⇒各事業部、関連会社の強みとなる差別化された技術を融合
- ④ A: Art (新規加工技術による挑戦) ⇒新加工技術による新たな機能付与とコストの削減



1 Na: Nano technology(ナノテクノロジーから拡がる新たな可能性)⇒紙の領域を超えたシート状物の開発

フィブリック(FIBLIC)テストマシンの稼働状況

内容

(リチウムイオン二次電池用セパレータ)

NaSFA

- ・ リチウムイオン二次電池用セパレータ(絶縁体)の開発に成功、ユーザー十数社を対象に試作品を 提供中。
- ・ 不織布系セパレータは微多孔フィルムに比べて抵抗が低く、高速充電適性に優れる
- ・ ただし既存不織布系セパレータではカーボン負極適性なし(デンドライト抑制できず)

フィブリックは高速充電とデンドライト抑制のバランスに優れる

現在の状況

- ・ テスト機の生産性向上
- ユーザー毎のカスタマイズ

今後の展開

・ 2020年モデル車載用LIB採用を目指す



フィブリック 建屋

除染シートの原発港湾内海水浄化への応用

NaSFA

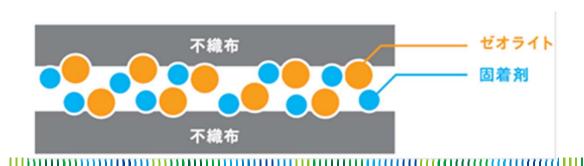
18

内容

- ・ 放射能汚染地域の復興への貢献のため、放射性セシウムを吸着するシートを開発した。
- 不織布間にゼオライトを挟み込んでいる。
- セシウム除去率が95%以上。
- ・ 縫製、プリーツなど用途に応じた形状に加工可能。

現在の状況

- ・ ストロンチウム除去率 95%以上を確認。
- ・ 共存イオンの影響も少なく、原発港湾内海水浄 化向けシートとして有効。
- ・ 外部業者にサンプル品を提供し、評価実施中。







2 S: Security

(偽造防止技術によるグローバル展開)

- ⇒黒すかし技術、最新スレッド挿入技術等を用いた 製品を投入
 - ⇒2020年東京オリンピックでの採用に向けた新規 要素技術の開発

セキュリティー用紙の開発

NaSFA

内容

- ・ 2013年3月に日本の黒すかし規制が緩和され、民間における製造の可能性が広がった。
- ・ 2013年5月 「TTマーク」の抄造許可が、また6月には 人物像の抄造許可が財務省より下りた。

現在の状況

- 黒透かし鮮明化のための、さらなる技術検討を進行中。
- ・ 商社と協力して当社試作のパスポート用紙に係る市場 調査をアジア圏を中心に実施している。

今後の展開

- 2014年12月を目途に販促サンプルの作成を目指す。
- ・ 黒すかし品質技術の更なる向上と、新規デバイス開発 などの新規偽造防止技術の開拓に努める。



黒透かし(試作品)



白透かし



スレッド



3 F: Fusion

(技術融合による新市場の創造) ⇒各事業部、関連会社の強みとなる差別化された 技術を融合

技術融合型ファンシーペーパーの上市

内容

(商品名:D'CRAFT)



- · 産業素材事業Gの生産力と特殊素材事業Gの技術力を融合した商品。
- 用途は包装紙、手提げ袋、メモパッド等の文具を想定。
- ・ クラフト紙をベースに、色・風合い・パターンを付与し従来のファンシーペーパーとは異なる、新規用途への展開を図る。

現在の状況

- LOFT渋谷店6Fにて10月21日から1テーブル専用 ブースにて販売開始。
- ・ 渋谷店の出足は好調で、LOFT全国90店舗への 拡大販売を検討中とのこと。



LOFT渋谷店6F 専用ブース



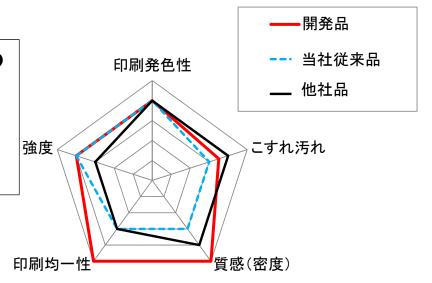
4 A: Art (新規加工技術による挑戦) ⇒新加工技術による新たな機能付与とコストの削減

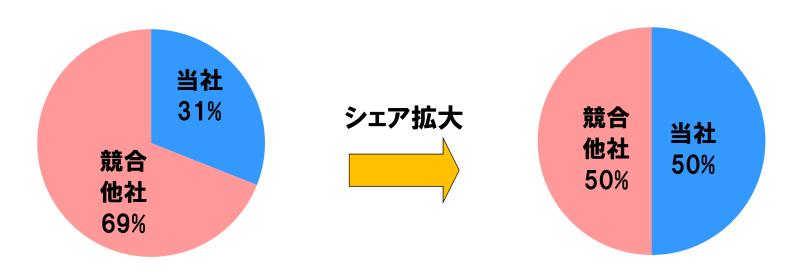
DFコーターによる高級印刷紙の上市



内容

- ・ 嵩高でかつ高い印刷均一性、発色性をもつ 商品を市場に投入し、高級印刷用紙のトッ プメーカーとなる。
- ・ 2015年2月 上市
- ・ 限界利益280百万円を見込む

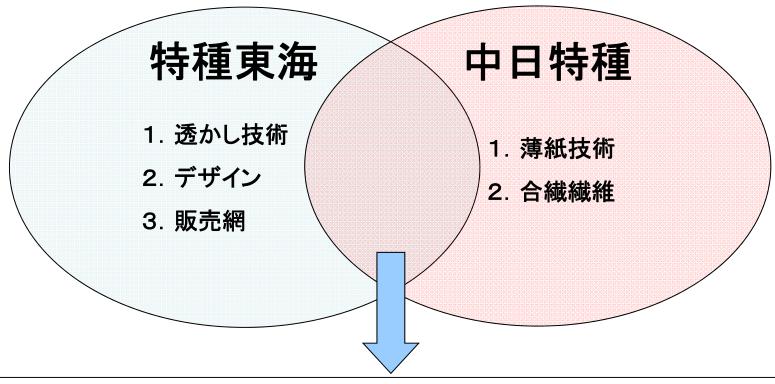




海外展開

中日特種紙 薄紙ファンシー

当社では製造できない、薄紙ファンシーの開発



- 1. 50g/m2以下の意匠性を付与した紙の開発。(包装用途をターゲットとする)
- 2. tカラペに新たな意匠性を付与
- 3. 市場調査(市場規模、価格)を進める予定

新規分野への進出

リニア工事と当社の取り組み

内容

- •10月17日 国交省、リニア工事計画を認可
- ・リニア路線のうち静岡県を通過する区間はすべて当社社有林の地下をトンネルで通過

当社は自然環境保護を前提に リニア工事に協力する

- ・社有林内2か所からも本坑トンネルを掘削
- ・トンネル掘削土(360万m3)は社有林内の 土捨場候補地(7ヵ所)にて埋め立て処理
- ・工事用宿舎3ヵ所(10年間で最大700人駐在する)
- ・その他工事施工ヤード
- •工期: ~2025年度



リニア工事と当社の取り組み

期待する効果

- ① トンネル工事用地、土捨場などの用地協力による賃貸収入・残土処分料収入
- ② 特種東海フォレストのトンネル掘削付帯工事等参加による利益
- ③ 特種東海フォレストの宿舎運営等サービス事業による利益
- ④ 工事用道路としてのアクセス道路改良整備(林道東俣線、県道ほか)
- ⑤ 工事関連施設を有効活用した観光事業の強化と新規事業(工事用宿舎の転用ほか)

今後の展開

- ・自然環境の保全とリニア工事との両立をめざし井川山林経営基本計画策定中
- ・JR東海と工事受入条件の協議(土地賃貸料、残土処分料、地域貢献策など)

赤松水力発電の更新工事





※撮影 2014年11月

能力

·年間売上金額 約14億円

スケジュール

- ・2014年 1月 更新工事開始
- · 10月 基礎工事完成、機械据付工事開始
- · 2015年 2月 運転開始
- · 3月 FIT適用の売電開始

島田工場 新バイオマスボイラーの設置

内容

- ・購入電力量及び化石燃料の削減によるエネルギー 費用の抑制、並びにCO2排出量の削減を図る。
- EMS(エネルギーマネジメントシステム)の導入によりエネルギーバランスの自動最適化を実現。
- ・発電電力は島田工場内での自己消費。
- ・設備投資額 : 約85億円
- ・補助金差引投資額 : 約51億円
- ・効果金額(経常利益)は年間約6億円
- ・投資回収期間は4.3年を想定。

スケジュール

- ・2014年9月 『エネルギー使用合理化等支援補助 金』交付決定
- ·2014年9月 発注、詳細設計開始
- ·2015年5月 着工
- ·2017年1月 完成、試運転開始



バイオマスボイラー ※写真は既存の島田工場バイオマ スボイラーになります。

基盤事業の構造改革

新タオルマシンの完成(1台目)

据付工事 (9/4日撮影) <u>テスト運転状況</u> (10/3日撮影)





※ 現在、若干速度を落しテスト抄造を実施しているが、今後は設備能力を100%発揮させた 運転ヘトライして行く。



お問い合せ先:財務・IR室

〒104-0028

東京都中央区八重洲2-4-1 常和八重洲ビル

Tel 03-3281-8581

Fax 03-3281-8591

本資料に掲載しております当社の計画および施策などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。様々なリスクおよび不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がございますことを、予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。